

同定の方針とルール

■同定の方針

ZUKAN会員ユーザーは観察データに投稿された生きものを同定することができます。ここでの「同定」は分類を決める行為としており、種を決めることを最善としていません。写真や位置情報から”種”の判断ができない場合は、属や科などの提案を行ってください。

■同定ステータスの仕組み

観察データが同定済のステータスになるには2つの条件があります。

- ・ 総票数が2票以上あること
- ・ ある提案への賛成票が総票数の3分の2以上になること

※票数の集計ルール：提案を1票、提案に対する同意1件ごとに1票として集計

また、同定済のステータスになったあとでも、すべての会員が違う種の提案を行うことが可能です。そのため、一度同定済になったものが、他の種になったり、属などの分類にとどまることも多くあると想定しています。

■同定の意義

生きものの種を特定するにあたっては、生殖器を確認しないと断定できない場合やDNAの塩基配列を確認しないとわからない場合も多々あります。つまり、写真による同定には限界があり、同定する手段としては最善とは言えません。しかしながら、写真や大まかな位置情報から種を特定できるケースが多くあるのも事実です。

そして、写真や位置情報で同定できる理由や同定できない理由を多くの人に伝わるようにすることは、生きものを知っていくうえでとても大切なことだと考えています。

■同定データの使い道

同定された観測データの詳細は、データの運用が厳格で、利用目的がはっきりしている研究機関・保護団体などに提出することがあります。生きもの好きが厳密に同定に取り組むことでデータの信頼性が上がっていくので、なるべく多くの研究の役に立つように、正確なデータをお渡しできるようにしていきましょう。

また、正確なデータが揃ってくることでAIによる分類の提案が導入が可能になり、生きものを深く知らない方でも気軽に生きものを楽しめるようになります。そういったサービスを作っていくためにも、誠実に同定に取り組んでいただくと幸いです。